

2013年9月27日

学長 尾池和夫

蒼山会創作・研究補助制度による助成金授与式 お礼のご挨拶

本日、蒼山会からの創作・研究のための助成を受けられた5つの課題のグループに対し、お祝い申し上げるとともに、助成くださった蒼山会の皆さまに、深く感謝いたします。この助成によって学生たちの課外活動が質・量ともに大きく育っていく、たいへん有意義な助成です。今回は5件について採択いただきました。

まず、蒲原早奈美さんたちのグループ「オサム・ジェームス・中川写真展「沖縄ーオキナワーOKINAWA」の記録集の制作・刊行」です。

京都造形芸術大学は、学生たちが世界に目を向ける力を得るために、長期的視野に立って根気よく現実の複雑さと向きあい、作品を制作する学生を段階的に育成するという目標のもと、2010年に「時代の精神展」を企画しました。その第1回は、写真家ジョナサン・トーゴヴニク氏を迎え、「ルワンダ ジェノサイドから生まれて」展を開催しました。

今年は、第2回として、日本とアメリカという2つの国にアイデンティティをもつオサム・ジェームス・中川氏を迎え、写真展「沖縄ーオキナワーOKINAWA」を、2013年11月22日(金)から12月14日(土)まで、無休、入場無料で、本学の間人館1階、ギャルリ・オーブで開催します。助成はその記録集の制作と刊行のためのものです。

次に、茅谷友惟さんたちのグループ「奄美地方の集中豪雨によって破損した地車の救援活動」です。

本学の歴史遺産研究センターでは、さまざまな災害による文化財の破損の問題を取り上げ、被災した文化財の救援と保存修復に取り組んでいます。地車(だんじり)は、祭礼で用いられる「山車」ですが、今回の助成は、とくに奄美のだんじりに関するものです。

次は、荒川莉佳子さんたちの「伊藤キムプロデュース「おやじカフェ」京都開催に向けて」です。

公募で集まった中高年男性、おやじたちが、ダンス&カフェサービスを行うという、伊藤キムさんの発案の企画です。東京、北九州、シンガポールで行われ、今回京都にて関西初の開催です。

4つめは、林亜由子さんたちのグループ「女川町仮設住宅敷地内コンテナカフェでのイベント開催」です。

本学の坂茂さんによるコンテナを利用した多層型の仮設住宅が注目されています。今回の助成は、女川でのカフェでのイベント開催のためのものです。女川駅の階段には、チリ津波の到達したラインが記録されていましたが、その駅も今回の津波で流されてしまいました。私も日本ジオパーク委員会の委員長として、三陸のジオパークの申請を認め、新しく八戸市から宮城県気仙沼市にかけての三陸沿岸を「日本ジオパーク」に認定しました。

5つめ、イムイエヒョンさんたちのグループ「「Non-Linear／非線形」プロジェクト 展覧会開催・インタビュー／記録・カタログ」です。

非線形の問題は、物理学のいろいろな分野で取り上げられますが、芸術の世界でも、例えば陶芸の世界で、動揺のはげしい轆轤による作品というような、結果の予想できない形、このような世界が、芸術にはよく現れる世界だと私は思っています。自然からの無作為の美というような概念が、カオスの世界だと思いますが、今回の助成からどのような記録・カタログが生まれるかを楽しみにしています。

いずれにしても、蒼山会の皆さまのご協力で、このような本学のさまざまの取り組みの世界が広がるきっかけをいただくことができます。それぞれの活動の成果を期待しつつ、私のお礼のご挨拶といたします。

ありがとうございました。